

民話を用いた地域づくりに関する研究

—テーマパーク計画を対象として—

京都大学大学院 学生員○竹林幹雄

京都大学工学部 正 員 佐佐木綱

京都大学工学部 学生員 東 徹

1. 研究目的

本研究は、地域の個性を演出する方法論として民話を用いたイメージの分析手法を提案する。本研究では制限連想法とSD評定法を用いた2つの心理実験により民話イメージを推定し、さらにこれを用いた公園についての考察を行った。

2. 心理実験の概要

対象地域には京都府綾部市、民話は当地に伝わる「天狗の詫び証文」をそれぞれ選定した。

民話イメージの特性を把握するために、民話を読むことによる心理上の変化を分析する。その手法として民話イメージを表わすと考えられる言葉に対して(制限)連想実験と、情緒的な面に重きをおくイメージを把握するSD実験を読書前後に行った。

3. 分析手法の概要

①制限連想実験：連想過程を単純マルコフ過程と仮定し、刺激語からの連想の推移状態を確率で表記した推移確率行列を作る。この行列から得られる極限の状態確率を連想パターンの反映値と考え、各刺激語の極限状態確率合計が100となるように規準化したものをイメージウェイト（以下I.W.と表記する）と定義する。I.W.はその言葉の思い浮かべやすさを表わすものである。I.W.の変化の大きい語に着目することで民話イメージの特性を把握した。

②SD評定法：因子分析およびその結果を用いてクラスター分析で解析を行った。これから情緒的意味の類似する言葉を把握することができ、情緒因子として陽気な・陰気な、威厳のある・庶民的な、男性的な・女性的な、が抽出され、読書前後でも因子としては相違点がほとんど認められなかった。

4. 分析結果の概略

①、②の実験結果を視覚的に表したものが図1、図2である。縦軸はI.W.を示している。また、クラ

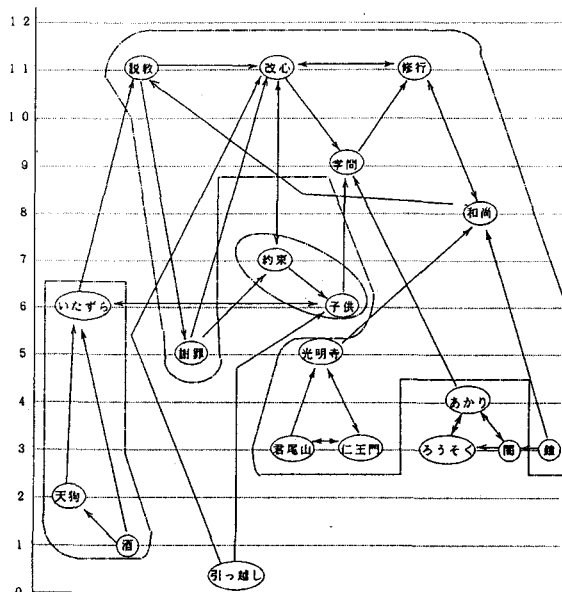


図1 イメージ構造図（事前）

スターは想起関係を有するもので情緒的意味が類似した傾向にあるものを、クラスター分析の結果を参考に一括して示したものである。図1では情緒的意味の近い言葉同士での連想が多く発生していることが認められる。図2では民話の影響により、イメージの組織化が現れていると考えられる。

事後における各クラスター間の接続の関係を図3に示す。ここに挙げられた言葉により、民話イメージを把握する上でのキーワードを決定することが可能である。キーワードとして整理したものを表1に示す。

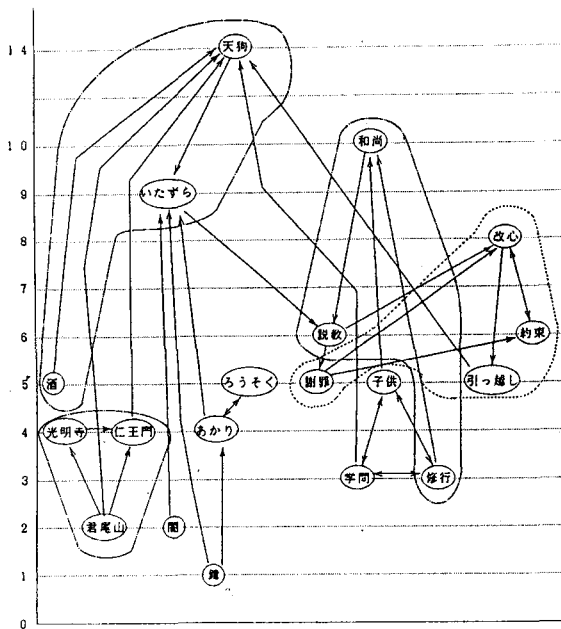


図2 イメージ構造図(事後)

5. 民話を用いたテーマパーク

以上の結果を用いて民話イメージを反映させた公園、すなわち民話をテーマとした公園づくりを考察する。この場合、キーワードの情緒的意味を用いて、別個に採取した(公園)構成言語に対するアナロジーを考える。そして、これらの個別のつながりは民話イメージに記述されたクラスター間のつながりを用いて、配置演出を考慮することにした。アナロジーの結果、図4に示される公園形態が案出された。これを対象地域である綾部市奥上林の光明寺周辺の整備案として提案した。

6. 今後の展開

民話を基調とした個性ある地域づくりを考えた場合、より多くの民話を解析することが不可欠である。そして多様な民話から得られる情報から取捨選択的に代替案を考案することが理想的である。そのために、さらなる民話の収集と解析、および現地の自治体等との連携が重要である。また、アナロジーに用いた構成言語は暫定的な印象が拭えないため、これに対する検討を続行する必要がある。

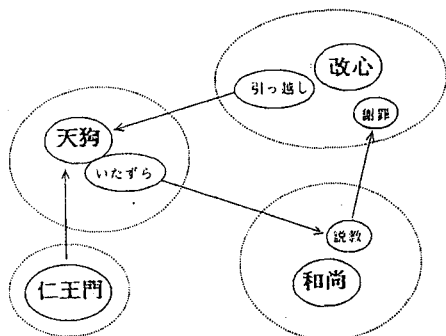


図3 クラスター間の関係(事後)

表1 キーワード一覧

	象徴言語
上位概念	天狗 和尚 改心 (仁王門)
補助的役割	いたずら 謝罪 説教 引越し

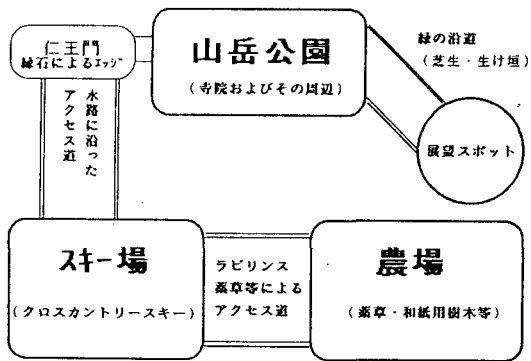


図4 テーマパークの概念図

＜参考文献＞

- 1) 佐佐木綱・小長井由隆・竹林幹雄・逢坂謙治; 民話を用いた地域計画手法に関する研究, 土木計画学研究・講演集NO. 13, P. 153~160, 1990.
- 2) 河合隼雄; 昔話と日本人の心, 岩波書店, 1982.